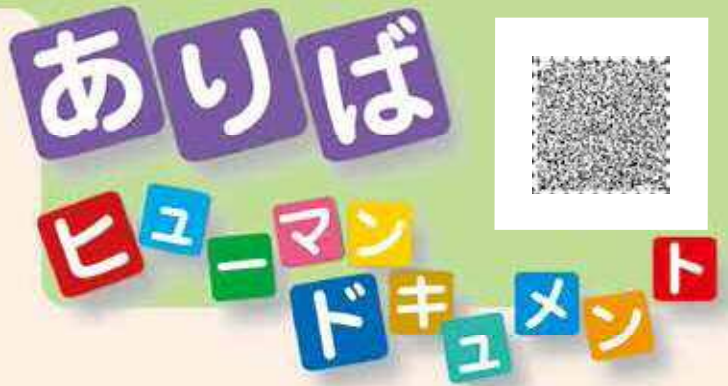




otto&orabuで小太鼓パートを受け持つ吉盛貢世さん



社会福祉法人 太陽会
障害者支援センター SHOBU STYLE
よし もり こう せい

[吉盛 貢世]さん

鹿児島市



演者と聴衆との間に心地よい一体感をもたらすパフォーマンス

音。パフォーマンズグループ otto&orabuが奏でる音楽

吉盛貢世さん(28歳)がメンバーの一員として活躍するotto(おっと)は、民族楽器を中心とするパーカッショングループ(2001年に結成)。しょうぶ学園の利用者とスタッフが一体となって奏でる音は、足並みが揃わず、音が頑強にずれ続けることもしばしば。しかし演者が純粹に楽しくセッションすることによって生まれる不規則で不揃いな音とリズムが、やがて聴衆の耳と心に心地よく響き渡って行きま



日々の練習に取り組み吉盛さんとメンバー

す。ヴォイスグループのorabu(鹿児島弁で「叫ぶ」の意)は、スタッフによる叫びのコーラス。ottoのリズムとorabuの魂の声が生み出す、不可思議で純粹な音楽世界がステージ上に奔放に広がります。

音と心を幾重にも重ねて 皆で作る音楽が魅力

小太鼓を担当する吉盛さんは、2014年の9月に加入。もともと打楽器の経験があり、ottoではステージのセンター近くで軽快なリズムを刻みます。「本番は楽しく自由に演奏します。だからこそ日々の練習がとって大事になってくるんです」と話す吉盛さん。

好きなアーティストはAKB48。中でも鹿児島出身



空想上の魚を描く絵画制作にも集中力を注ぐ。カラーペンを使った豊かな色彩が特徴

の柏木由紀さんのファンで、楽曲を聴きながらリズム感を養うイメージトレーニングも行っています。県内のみならず全国でパフォーマンスを行うotto&orabu。1月には「全国障害者芸術・文化祭がごしま大会」への出演も控えています。吉盛さんは「最初は緊張しますが、お客さんの顔を見ながら演奏しているうちに楽しくなります」と、大舞台でのパフォーマンスを心待ちにしている様子です。

社会福祉法人 太陽会
障害者支援センター SHOBU STYLE

鹿児島県鹿児島市吉野町5066
TEL.099-243-6639
FAX.099-243-7415
http://www.shobu.jp



- ・ライフサポートセンター「しょうぶ学園」
- ・ワークサポートセンター「Doしょうぶ」
- ・地域生活支援センター「グループホームしょうぶ」「ホームヘルプサービスセンター」「相談支援センター」

